点灯順序

全灯 → 段調光 → 豆球 → 消灯

・段調光状態のままで壁スイッチで消灯後、再び点灯させると、一旦全灯になった後、段調光状態となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	78W	FHD85（85形二重環形蛍光灯）

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●コゲくさい臭いがする。 ●ランプを取りかえても正常に点灯しない ●器具に触れるとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

保証について

●保証期間は商品お買い上げ日より１年間です。
ただし、蛍光灯器具内臓の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

●保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

●保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1. お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
2. 施工上の不備に起因する故障や不具合
3. 使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4. 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷
5. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障および損傷
6. 日本国内以外での使用による故障および損傷
7. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

●修理を依頼されるとき
1. 保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買い上げ日を特定できるものを添えて、お買い上げ販売店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎている場合
お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービスについてご不明な点（修理・取り扱いのご相談）は、お買い上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品等でお買い上げの販売店にご依頼できない場合、
1. 修理のお問い合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター ☎(03)3424-1111 東京都世田谷区池尻3-10-3
西日本フロントセンター ☎(06)6454-3901 大阪市北区大淀中1-4-13
フリーダイヤル 0120(0120)56-8634
2. その他のお問い合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さまご相談センター（フリーコール）
FC(0120)139-365 東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other coutry.
No servicing is available outside of Japan.

製造会社 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729 FAX(0467)41-2786

HH50015-T3A

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

蛍光灯シーリング

E762Z523G01
E762Z523H50

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

お客様へ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくためにこの「取扱説明書」を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

形名　CPD85177EL

保管用
施工説明付き

取扱説明書

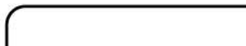
安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

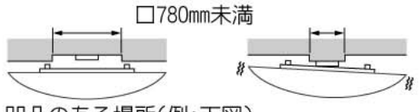
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止

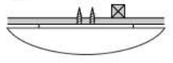
■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が□780㎜未満の場所（例：下図）



・凹凸のある場所（例：下図）

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）



・傾斜した場所

●この器具は水平天井面取り付け専用です。

必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電の原因

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの

・ケースウェイに取り付けられたもの

●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には電気工事士の資格が必要です。）

■スイッチ操作のひもなどに無理な力をかけない
引きひもにぶらさがったりしないでください。
守らないと、落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがの原因

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1解説による)
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「愛情点検」(8ページ)に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因
●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。
(取り外しには電気工事士の資格が必要です。)

使用上のお願い

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所(山間部、鉄筋建物内など)では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞(ムービングストライエーション現象)が発生することがあります。
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。

付属部品の確認

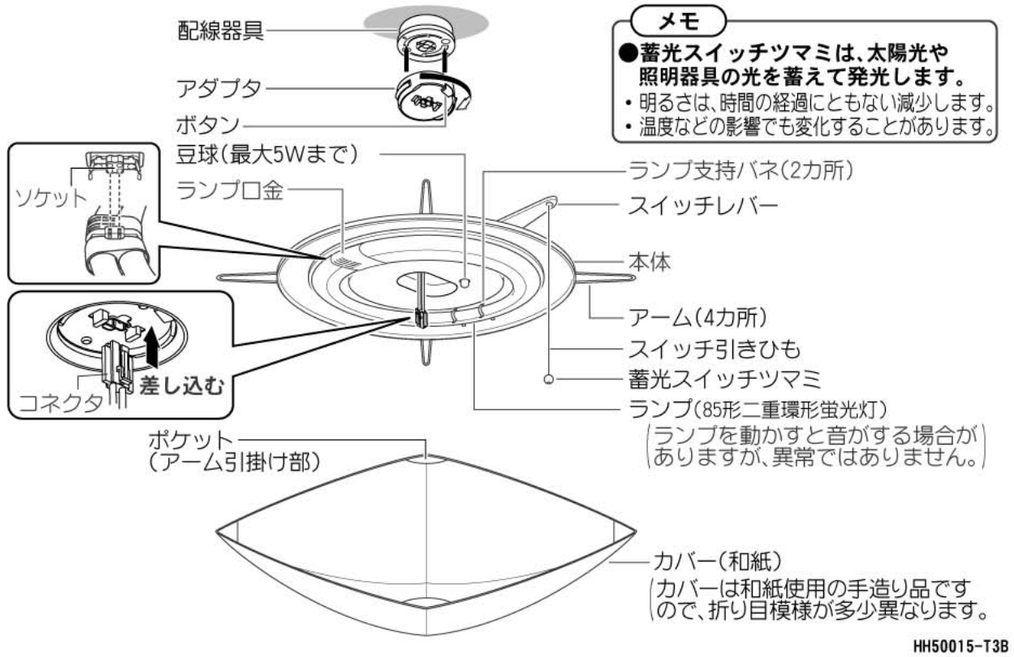
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

- □アダプタ(1個) 補修品番 NZ2716M
- □配線器具 (丸型フル引掛シーリング(1個))
- □引掛シーリング用木ネジ(2本)

・使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

各部のなまえ



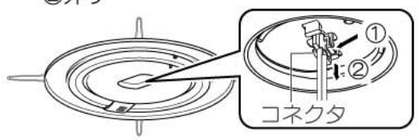
メモ
●蓄光スイッチツマミは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
・明るさは、時間の経過にともない減少します。
・温度などの影響でも変化することがあります。

HH50015-T3B

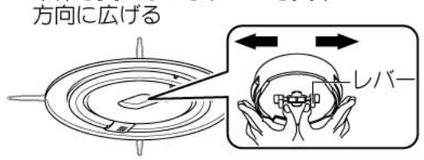
E762Z523G01
E762Z523H50

本体、アダプタの外しかた

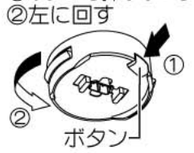
1 コネクタを外す
①押しながら
②外す



2 本体を外す
本体を支えながらレバーを矢印の方向に広げる



3 アダプタを外す
①ボタンを押しながら
②左に回す

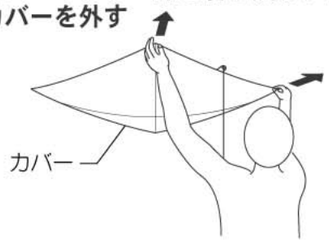


ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。二重環形蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

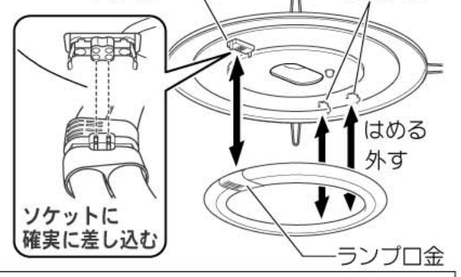
1 カバーコーナー部を引っ張り、カバーを外す



2 ランプを交換する

・取り外す
①ランプ口金側を外す
②支持バネ側を外す

・取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②支持バネで固定する



3 カバーを取り付ける

4ページ「照明器具を取り付ける」手順 7 参照

⚠注意
■器具表示の指定W(ワット)数のランプ以外は使わない。過熱して火災の原因
■支持バネをランプに強く当てない。ランプが破損してけがの原因
■使用済みランプは不用意に割らない。ガラスの破片が飛散してけがの原因

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●カバーは和紙を使用していますので、日光などにより多少変色することがあります。
●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
和紙部はやわらかいハケやブラシで掃除してください。
●タルミ・ヘコミ・折れ目が気になるときは、霧吹きで充分湿らせてから自然乾燥させるか、カバー裏面からアイロンをかけると、目立ちにくくなります。
●水を含んだ布やシンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破れ、変色、破損の原因となります。
●カバーは汚れた手で取り扱わないでください。汚れの原因となります。

⚠警告
器具、ランプを水洗いしない。
火災・感電の原因

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 配線器具を確認する

直接取り付けできる配線器具

角型引掛シーリング
品番:WG1000

丸型フル引掛シーリング
品番:WG5005
WG5015

丸型引掛シーリング
品番:WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

引掛埋込ローゼット
品番:WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番:WG6130

フル引掛ローゼット
品番:
WG6005

●ローゼットの金具に、ねじが付いている場合は外してください。

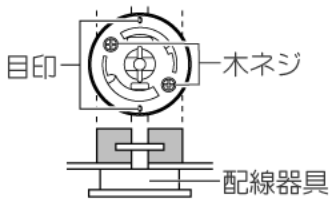
引掛埋込ローゼット
(ハンガーなし)
品番:WG6001WK

同梱の配線器具は使いません

上記6タイプ以外の配線器具

同梱の配線器具に取り替える

工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。交換には電気工事士の資格が必要です。

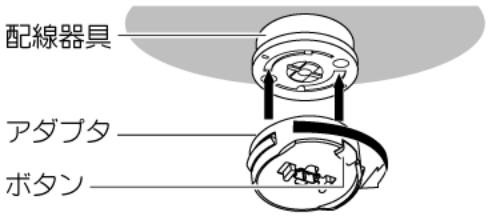


⚠警告

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付けてください。守らないと、落下によるけがの原因
施工は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従って行う

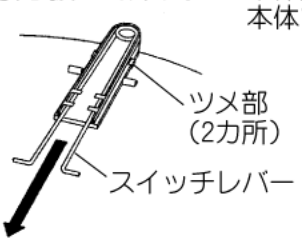
2 配線器具に アダプタを右に回して取り付ける

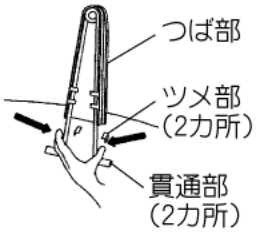
確認 取り付け後、ボタンを押さずに左へ回して外れないことを確認する。



3 スイッチレバーを取り付ける

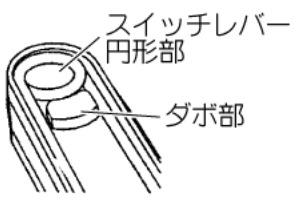
①スイッチレバーを本体ツメ部から引き抜いて外す。 ②スイッチレバーのつば部を支えながらスイッチレバーをつまみ、本体貫通部に先端を通して本体ツメ部に引っ掛ける。





確認

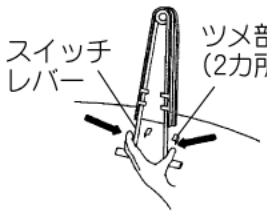
●本体の貫通部(2カ所)とツメ部(2カ所)にスイッチレバーが掛かっていることを確認する。
●取り付け時に引きひもがスイッチレバーに絡まないように注意する。
●スイッチレバー円形部がスイッチレバーダボ部を乗り越えていることを確認する。
(スイッチレバーがダボに乗り上がっていないこと)

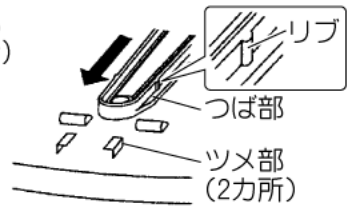


完成図

スイッチレバーの収納方法

①スイッチレバーをつまんで本体ツメ部より外す。 ②スイッチレバーのつば部を側面のリブが本体のツメ部を越えるまで差し込む。





確認

●本体のツメ部(2カ所)にスイッチレバーのつば部が掛かっていることを確認する。

メモ

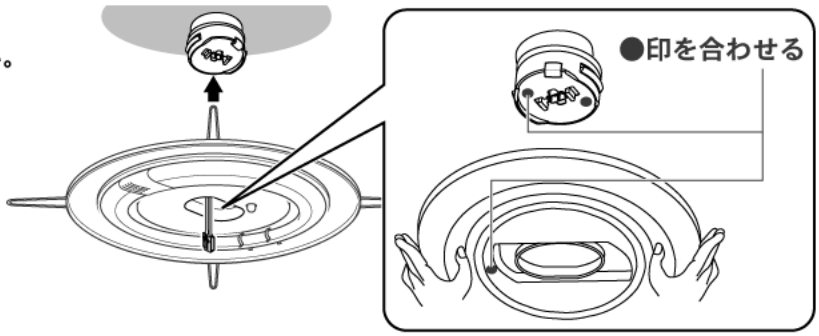
●壁スイッチのみで使用する場合、お好みの点灯状態(全灯または段調光)にし、スイッチレバー、引きひも、ツマミを本体上面に収納する。
出荷時は豆球状態になっていますので全灯にする場合は2回、段調光にする場合は3回スイッチを引いてください。

4 本体を押し上げて取り付ける

● 取り付けの際ランプを持たないでください。

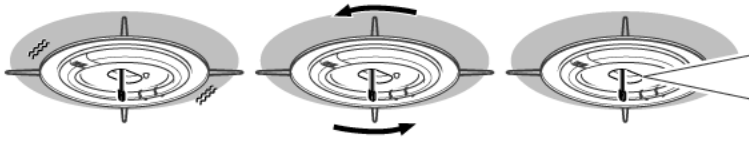
●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。

●本体取り付け後、ランプ(蛍光灯)がソケットから浮いていないか確認する。
➡ 浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。



5 取り付け時の確認を行う

● 本体が下記の状態の場合は、正しく取り付けられていません。

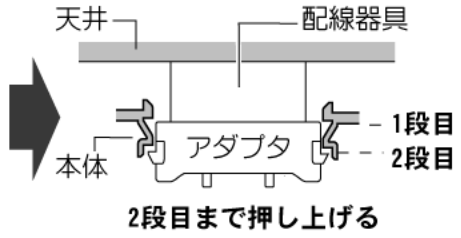


・本体がグラグラする
・本体が簡単に回転する
・アダプタのレバーが正しい位置にきていない

● アダプタの本体取り付け位置

下図配線器具の場合

丸型フル引掛シーリング
角型引掛シーリング
丸型引掛シーリング
フル引掛ローゼット

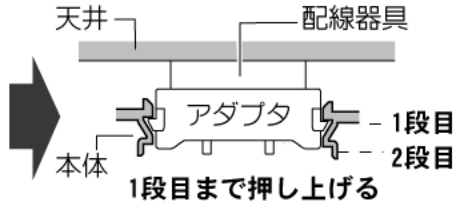


2段目まで押し上げる

● アダプタの本体取り付け位置

下図配線器具の場合

引掛埋込ローゼット
引掛埋込ローゼット(ハンガーなし)



1段目まで押し上げる

6 コネクタをアダプタへ差し込む

⚠警告	コネクタを引っ張って抜けないことを確認する **落下によるけがの原因**

コネクタが抜ける場合は本体をさらに押し上げる。

7 アームにカバーのポケット(4カ所)を引っ掛け、カバーを取り付ける

①‥‥アーム2カ所に引っ掛ける。
②③‥残りのアーム2カ所に1カ所ずつ引っ掛ける。